

大淀中学校便り

大阪市立大淀中学校
令和2年3月24日発行

■ 第73回卒業証書授与式 ■

3月13日(金)、第73回卒業証書授与式を挙行しました。校長先生より、第73期生93名に卒業証書が授与されました。

当日は、新型コロナウィルスによる感染症の拡大予防のため、ご来賓の皆さまには、ご臨席いただくことができませんでした。また、参列いただいた保護者の皆さまには、受付で健康チェックと手指の消毒、式場でのマスクの着用にご協力いただきました。さらに、空気の換気を行うため、式場の窓を開けたまま式を行いました。



卒業生が入場すると、大きな拍手が鳴り響きました。

「国歌・市歌・校歌」斉唱の後、「校長式辞」と「PTA会長祝辞」、心温まる「在校生送辞」、感謝と誓いの「卒業生答辞」が述べられました。

続いて、卒業生の「仰げば尊し」と「卒業の歌」、参列者全員による「螢の光」の合唱へと式が進行していきました。

圧巻は「卒業の歌 群青」でした。臨時休業の影響で、十分な練習ができなかつたにも

かかわらず、心のこもった美しい歌声を響かせました。そして、この歌とともに第73期生が大淀中学校を巣立っていきました。



第73期生の門出にあたり、「校長式辞」(骨子)をご紹介させていただきます。

「過去から学び、現在の課題を世界規模・地球規模で考え、未来を築いてほしい」

この1年は、様々なことがありました。元号が平成から令和に変わる改元、地球規模での環境問題等を話し合うための「G20」など、歴史に残る時間を目の当たりにすることができます。「SDGs」で取り上げられている2030年までに解決をめざす17の目標と、持続可能な取組の大切さを強く感じた1年でもあったことと思います。

このような数多くの経験を通して、卒業生の皆さんには、様々な課題に出会ったときに、誰かが解決するのを待つのではなく、一人ひとりが自ら行動を起こすことができるようになっているはずです。そのためにも、相手の多様な価値観や考えを受け止め、自分の考えを主張し、最適な答えを導き出していくこととともに、主体的かつ柔軟で、力強さを兼ね備える人になってほしいと願っています。

■ 公立高校入学者選抜 ■

2月20日(木)、21日(金)の2日間で、大阪府公立高校特別入学者選抜が行われました。当日、5名が受験し、受験生全員が合格しました。

3月11日(水)には、一般入学者選抜が行われました。当日、46名の受験予定者全員が滞りなく入試に臨むことができました。

一般選抜の合格発表は、3月19日(木)に行われました。喜びの声が聞かれる一方、残念な結果になった受験生もいました。ここでお願いしたいのは、合否を謙虚に受け止めるとともに、結果だけに左右されるとなく、次へのステップにつなげていってほしいということです。

残念ながら希望通りにならなかった人は、これを受け止める気持ちの強さと、さらなる飛躍をめざしていってください。

希望通りの結果が出た人は、これにおごらず、これからも精一杯努力を続けていってください。

いずれにしても、第73期生一人ひとりの未来に、幸多かれと祈念しています。

■ 1・2年生 登校日 ■

3月23日(月)、1・2年生の登校日として、学年集会と学活を行いました。

2年生の学年集会のようす



学年集会は、列間を2m以上、一人ひとりの間隔を1m以上あけて行いました。担当の先生方から、1年間のまとめや春休みの課題、新年度の連絡について話がありました。

学活では、学級担任からの話と配布書類を受けとった後、久しぶりにグラウンドで体を動かしました。1年生は、ドッジボールで汗を流しました。2年生は、バレーボールやドッジボールを楽しむグループ、フライングディスク、ランニング、縄跳びなどをする生徒など、多岐にわたって存分に体を動かしていました。久しぶりに会った級友と楽しそうに過ごす姿がとても印象的でした。

1年生のグラウンドでの活動のようす



■ 令和元年度 修了式 ■

3月24日(火)、令和元年度修了式を行いました。

学級担任から、この1年間の最終の成績とともに修了証が渡されました。通知表フォルダは次年度に引き継ぎますので、4月8日(水)の始業式の日に持ってきてください。

令和2年度も、『響育』(心に響く教育)のスローガンのもと、生徒一人ひとりが学びを共有できる学校をめざし、魅力ある学校づくりに、引き続き取り組んでまいります。

この1年間、本校の教育活動の推進にご理解・ご協力を賜りありがとうございました。

次年度もよろしくお願いします。